



廣齒連盟ニュース

HIROSHIRENMEI NEWS

平成26年9月10日

第160号

発行所 広島県歯科医師連盟
広島市中区富士見町11-6
エソール広島820 TEL(082)241-8020
ホームページ http://hpdpf.jp
編集兼発行人 枘田博昭

第1回デンタルミーティング

平成26年度広島県歯科医師連盟

平成26年8月2日(土)午後5時30分、ANAクラウンプラザホテル広島で平成26年度広島県歯科医師連盟、第1回デンタルミーティングが開催され、広島県選出の国会議員、県議会議員と歯科医療の現状、未来について意見交換が行われ、親睦を深めた。

平成26年8月2日(土)午後5時30分、ANAクラウンプラザホテル広島3階「オーキッド」に於いて平成26年度第1回デンタルミーティングが開催された。

津島隆司広島県歯科医師連盟理事長の司会進行のもと、荒川信介広島県歯科医師連盟会長より「今回の消費税アップ分の補てんで新たな基金を創設して医療介護の推進に充てることと、また社会保障プログラム法案で所得水準の高い国保組合

について補助金を減らすというお話等が聞こえてきております。本日に我々の政治力が問われる時に差し掛かっており、我々が実力を発揮できるかどうか問われておりますので頑張っていかなければと思います。次期第24回参議院比例代表選挙に於いては我々の職域代表を立てて戦います。石井みどり先生の30万票までは無理かもしれませんが、改めて我々の実力を示して国の方でも県の方でもこちらを向いてい

つていただけるものと思っておりますので県民は勿論、我々歯科界にも少し意を配っていただければと思っております」と挨拶があった。

続いて峰正博日本歯科医師連盟理事長より「医療は医学の社会的適応とよく言います。今日本は大変な社会構図になろうとしております。その中で政府は社会保障制度改革推進法に基づき、安倍総理を筆頭に本格的に近未来の日本の社会保障を真剣になって考えていると

こころです。少なからずとも2025年には団塊の世代が全て後期高齢者に入って参ります。従いまして65歳以上の人口は3500万人くらいになる予想です。ただ日本の人口全体が1億を切つてきて9000万人くらいになるといことですので3分の1くらいが高齢者で占めてしまうという超高齢社会になってしまいます。従いまして私どもの歯科界から政府に、安定した歯科医院経営ができるようにお願いをしている

ばらしい成績でご当選をされました。又、先生は参議院の厚生労働委員長をされていまして大活躍をされております。これから一緒に仕事をしたい先生方のお役に立ちたいと思っております。特に高齢者にとって口腔ケアが一番大事だと言われていると思います。また診療報酬の問題、消費税引き上げの際色々な矛盾点等、まだまだ課題がございますが一生懸命勉強していきたいと思っております」と挨拶があった。



荒川信介広島県歯科医師連盟会長

ただくように頑張りたいと思います。来年4月の統一地方選挙もすぐそこに迫っております。本日出席いただきありがとうございます。先ずは恐らく次も頑張



峰正博日本歯科医師連盟理事長

訳です。その中で日歯も日歯連盟も色々な形で毎日のように行政、そして政治家の先生方に様々な要望を行っている訳です。政治と行政がどのようにかかわ



平口洋衆議院議員

おります。更に先生方の診療報酬や特に消費税、機器・機材の仕入れは患者に転嫁出来なおりますが、こつこつ問題を先輩方としっかり議論して行

きたいと思っております」と挨拶があった。参議院からは溝手顕正参議院議員より「来春の統一地方選挙の話が荒川信介会長からあります。私もずいぶん長い間選挙をやっていることになりまして、広島県から選出された全国県議会議長の会長の林正夫先生を中心に県議会の先生方、石橋良三先生もいらっしやいますし、しっかりと歯科界の皆さんと連携が取れているということで大変な道を



溝手顕正参議院議員

誤ることなく今日までこられた事に、大変うれしく思っております。とにかく我々も復帰ができそうですね状況にありますのでもう一回しっかりと原



小島敏文衆議院議員

点に返って皆様方と一緒にやってくれる体制を是非作って参りたいところのように入りますのでどうぞよろしくお願いいたします。自由民主党がもう一つ大き

第63回 県歯連盟評議員会

も噂になっていると思いが、岸田大臣が次のス
テップにさしかかり必ず
所期の目的を達成できる
ものだと思っており、皆
様とともに今日まで一生
懸命にやって参った成果
が出るのではないかと思
います。是非ご期待いた
だければと思います」と
挨拶があった。

林正夫広島県議会議長
から「先程からお話が出
ていましたように、私ど
も来年の4月から大事
な統一地方選挙を控えて
います。皆が当選するよ
うに頑張る参りたいと
思います。なにとぞ先生
方のお力を貸していただ
き立派な結果が出るよう
に高いところからですが
お願いを申し上げる次第
です。またよろしくお願
いをいたします。そうい
った中で我々県議会の方
でも荒川信介会長からい
ろいろとご要望がござい
ましたときには誠心誠意
みんなで頑張る参りた
いと思っております。ど
うか忌憚のないご意見ご
要望を賜りたいと思っ
ております。そして私事
で大変恐縮でございます
が先般私の全国議長会
長就任パーティーの発起
人に荒川信介会長になっ
ていただき多くの先生方
にもご出席いただいたこ
とをこの場をお借りしま
して厚く御礼申し上げます。
どうもありがとうございます
ございました」と挨拶があ
った。



石橋良三広島県議会議員

司理事長よ
り「日本歯
科医師連盟
では次期参
議院議員選
挙において
候補者を擁
立すること
を6月27日
の日本歯科
医師連盟選
挙において
決定し、来
年春には候
補者が選定される予定。
歯科口腔保健に関する法
律や、広島県歯と口腔の
健康づくり推進条例が制
定されたが各市町村にお
いて歯科保健推進事業が
より一層円滑かつ活発に
行われるようご協力を賜
りたい。また広島駅北
口に新会館建設準備をし
ているが、現所在地にある
広島口腔保健センター
医師の資格を持つており
ますので皆様からのお話
を十分に理解しながら、
側面的に歯科界の応援を
していきたいと思つ次第
です。この場をお借りし
まして心から感謝を申し
上げるとともに皆様方
のご活躍を祈念申し上げます。
ありがとうございま
し」と挨拶があった。

8月2日(土)午後4
時よりANAクラウンブ
ラザホテル広島3階「カ
トリア」に於いて標記評
議員会が開催された。

氏名点呼の後、神原和
暢副会長より開会の辞が
述べられ、中原裕穂議長
の進行で会議宣誓が行わ
れた後、議事録署名者の
指名はこれまでの慣例に
より議長一任の取り運び
となり、松本浩一評議員
(安佐)、片山英彦評議員
(福山)に決定した。

次は荒川信介会長より
「先生方のお力により、
新執行部になって無事に
1年が経ちました。平成
25年度決算剰余金の繰り
越しにより、突発的な衆
議院選挙においても、支
部からのご要望に対して
も十分に対応出来るもの
と見まが社会保険審議会
の医療保険部会において
多数の委員から出ていま
す。今ほど政治力が必要
な時はないと思つてお
り、今まで頑張ってきた
我々の成果がどれぐらい
のものであったか、真価
を問われる時が来ており
ます。これから先、出来
る限りいい方向に進めて
行きたいと思つておりま
す。来年の4月には、統
一地方選挙があり林正夫
広島県議会議長も統投さ
れると聞いておりますの
で、広島県もしつかりと
した足掛かりを持つ為
にご検討頂きたいと思つ
ております」と挨拶があ
った。

報告事項に入り、
一般事務報告
会計現況報告
中央情勢報告
その他

区より2名の選考委員の
選出枠があり、中国・四
国の当番県より1名づつ
選出することになり私が
赤木真一日歯連盟評議員
と入れ替わり日歯連盟評
議員になり選考委員会に
出席させていただきたい
と思つています。先生方には
随時報告をして、間違い
のない選出をしたいと思います
とあります。さらに連
盟支部交付金の名称につ
いては、連盟支部助成金
に変更させて頂きます。
歯科医師会単位の支部
を、衆議院の選挙区に合
わせて再編する事も視野
に入れて、今後の支部の
活動のあり方を考慮し、
ご検討頂きたいと思つて
おります」と挨拶があ
った。

報告事項に入り、
一般事務報告
会計現況報告
中央情勢報告
その他

区より2名の選考委員の
選出枠があり、中国・四
国の当番県より1名づつ
選出することになり私が
赤木真一日歯連盟評議員
と入れ替わり日歯連盟評
議員になり選考委員会に
出席させていただきたい
と思つています。先生方には
随時報告をして、間違い
のない選出をしたいと思います
とあります。さらに連
盟支部交付金の名称につ
いては、連盟支部助成金
に変更させて頂きます。
歯科医師会単位の支部
を、衆議院の選挙区に合
わせて再編する事も視野
に入れて、今後の支部の
活動のあり方を考慮し、
ご検討頂きたいと思つて
おります」と挨拶があ
った。

報告事項に入り、
一般事務報告
会計現況報告
中央情勢報告
その他

区より2名の選考委員の
選出枠があり、中国・四
国の当番県より1名づつ
選出することになり私が
赤木真一日歯連盟評議員
と入れ替わり日歯連盟評
議員になり選考委員会に
出席させていただきたい
と思つています。先生方には
随時報告をして、間違い
のない選出をしたいと思います
とあります。さらに連
盟支部交付金の名称につ
いては、連盟支部助成金
に変更させて頂きます。
歯科医師会単位の支部
を、衆議院の選挙区に合
わせて再編する事も視野
に入れて、今後の支部の
活動のあり方を考慮し、
ご検討頂きたいと思つて
おります」と挨拶があ
った。

石橋良三広島県議会議
員より「私は今期をもち
まして引退を決意しまし
た。振り返ってみますと
約28年間皆様方にお世話
になって参りました。28
年前に初めて立候補した
ときには歯科医師会の応
援をいただいて8676
票だったでしょうか、落
選をした訳ですが、その
後24年間6期勤めさせて
いただきました。私が歯
科界に対してどれだけの
ことができたかというこ
とを振り返
ると、『広
島県歯と口
腔の健康づ
くり推進条
例』を林正
夫県議会議
長を中心に
作らせてい
ただいたこ
とです。今
日はこの場
をお借りし
まして本当
に長い間お世話になりま
したことを御礼申し上げ
ます。今は亡き多くの諸
先生、諸先輩方にも大変
お世話になったことも思
い出す訳ですが、このま
で育てていただいたこと
に心から感謝を申し上げ
たいと思つています。しか
し、まだまだこれでやめる訳
ではございません。歯科
医師の資格を持つており
ますので皆様からのお話
を十分に理解しながら、
側面的に歯科界の応援を
していきたいと思つ次第
です。この場をお借りし
まして心から感謝を申し
上げるとともに皆様方
のご活躍を祈念申し上げま
す。ありがとうございま
し」と挨拶があった。

そして平成23年4月の
統一地方選挙において広
島県歯科医師連盟が推薦
した本日ご出席の広島県
議会議員の紹介があつ
た。

現況報告では、津島隆

続いて、山科透相談役
の挨拶で懇親会が開催さ
れ、地区ごとに分かれて
国会議員及び県議会議員
と歯科医療の現状や、今
後の歯科保健施策につい
て、行政に反映してもら
えるよう直接要望し、政
治、選挙について活発な
意見交換が行われ、親睦
がはかられ、盛会のうち
に閉会した。



林正夫広島県議会議長

とを振り返
ると、『広
島県歯と口
腔の健康づ
くり推進条
例』を林正
夫県議会議
長を中心に
作らせてい
ただいたこ
とです。今
日はこの場
をお借りし
まして本当
に長い間お世話になりま
したことを御礼申し上げ
ます。今は亡き多くの諸
先生、諸先輩方にも大変
お世話になったことも思
い出す訳ですが、このま
で育てていただいたこと
に心から感謝を申し上げ
たいと思つています。しか
し、まだまだこれでやめる訳
ではございません。歯科
医師の資格を持つており
ますので皆様からのお話
を十分に理解しながら、
側面的に歯科界の応援を
していきたいと思つ次第
です。この場をお借りし
まして心から感謝を申し
上げるとともに皆様方
のご活躍を祈念申し上げま
す。ありがとうございま
し」と挨拶があった。

そして平成23年4月の
統一地方選挙において広
島県歯科医師連盟が推薦
した本日ご出席の広島県
議会議員の紹介があつ
た。

現況報告では、津島隆

続いて、山科透相談役
の挨拶で懇親会が開催さ
れ、地区ごとに分かれて
国会議員及び県議会議員
と歯科医療の現状や、今
後の歯科保健施策につい
て、行政に反映してもら
えるよう直接要望し、政
治、選挙について活発な
意見交換が行われ、親睦
がはかられ、盛会のうち
に閉会した。



第63回 県歯連盟評議員会 (8/2)

第3号議案

日本歯科医師連盟評議員及び予備評議員 変更の承認を求める件

連盟規約第13条第6号に基づき、日本歯科医師連盟
評議員及び予備評議員の変更について、評議員会の承認
を求めます。

【現在】

日歯連盟評議員	日歯連盟予備評議員
津島隆司	三次みさと
赤木真一	荒川信介

【変更】

日歯連盟評議員	日歯連盟予備評議員
津島隆司	三次みさと
荒川信介	赤木真一

(4)(3)(2)(1)

- 報告事項に入り、
- 一般事務報告
- 会計現況報告
- 中央情勢報告
- その他

(3)(2)

- 最後に前谷照男副会長
による閉会の辞で終了し
た。
- その他

(1)

- 統一地方選挙の対応
について

(4)

- その他の案件
を求めめる件

(3)

- 第3号議案 日本歯
科医師連盟評議員及び
予備評議員変更の承認
を求めめる件

(2)

- 第2号議案 連盟役
員の任期変更の承認を
求める件

(1)

- 第1号議案 平成25
年度広島県歯科医師連
盟、自民党広島県歯科
医師支部、石井みどり
広島県後援会、西村ま
さみ広島県後援会、各
事業会計収支決算の承認を
求める件

第122回日歯連盟評議員会

次期参議院・比例代表選挙に
組織代表候補者擁立を決定、
伴い候補者選考委員会の設置

第122回日歯連盟評議員会が6月27日(金)午後1時より日本歯科医師会館1階大会議室に於いて標記評議員会が開催された。

氏名点呼の後、高橋英登副会長の開会の辞で始まり、議事録署名人の指名、物故会員に対する黙祷が行われ、高木幹正会長より「いまや政治経済ともに国際的なバランスを考へずして一國だけで

全てが解決する時代ではなく、なって来ているところ。その中で我が国は本格的な少子高齢化社会を迎え、安全保障と社会

を確保し、内憂外患という構造となっており、今の安倍政権は当初より経済再生と財政再建の二本柱にして経済最優先政策という事でいわゆるアベ

ノミクスを打ち立てて、そして積極的に執念を持って取り組んでいくところ

です。金融政策、財政政策これらを矢継ぎ早に打ち出して、株高円安という状況になってきました。これからの状況を維持し更に我が国を活性化し、そして好循環社会を維持するには第3の矢である成長戦略が一つの鍵になります。24日の経済再生諮問会議では、経済の運営或いは改革の基本

骨子といういわゆる骨太の方針が打ち出されております。そして産業復興会議では日本再考戦略、改訂版成長戦略と言われています。そして育成改革会議では育成改革の自主計画という第二答申が出てきています。そういったものを見て

いますと医療介護ということに関してよく言われるところでは、自然増を含めて聖域なき見直しで徹底的に効率化適正化を図っていくという文言と挨拶が述べられた。

が出て来ています。そしてホールディングカンパニー型法人制度。こういったことが介護に関係している全ての関係組織と一括してなること非営利がこういった物が創設される。そして第二答申において、いわゆる患者申し出療養といった名の下に保険外療養費制度の中に新しい制度が創設される。

色んな会議があつて色々な声が出て来るのです。最終的にはそこに集約されて行っていると思う。今の安倍政権は社会保障の面と産業振興の面の両面を持って医療の役割機能を見ていこうとしています。このように国の方針が出た場合、連盟の立場でここへどういった形で関わっていくか。ここは守るだけではなく色々なことを仕掛けながら積極的に攻めていき、我々の活路を色んな所に見出していくことが、今だからこそ必要です。

挨拶する高木幹正日歯連盟会長



守った費用であるとすれば、それを闇雲に削減することは日本の国家の存立基盤をまったく危うくするものであります。したがって経済再生、財政再建は極めて大事ではあるけれども、同時に医療を守るという2つの一見矛盾したような柱をそこ

でつなげるものは、国家をどのように上手く運営していくかということになります。ただ1つ言えるのは医療費が伸びているとは言われますが、歯科医療費は全く伸びていません。医療費の伸びに歯科医療費が全く貢献していません。従って医療費が伸びるからと言って歯科医療費も同じように伸びる訳ではないので同じ割合でも歯科医療費を削ることは極めて厳しい。我々としては歯科医療費拡大や可能性を拡げていきます。もう一つ最後にミクロ的に見ますと、その方針として患者動員ですが患者選択と言っている時には私も有効性が安全性、それから保険収載がまだ充分補償されていないというところで、国民として国家の財政が危機的になつても医療費だけは伸び続けても良いということをした承すことは不可能です。医療費とは単なる支出でなく国民が病気になるってその病気が必死になつた結果を歯科医師、医師へ医療費として出されたもの、それが国民の医療費というシステムです。従って医療費とは結果として国民の生命と健康を

葉がかなり大きく今回の規制改革の報告書の中に入ってきました。つまり評価療養は保険収載に道を通ずる療養で有りませぬけれども、選定療養は保険収載しないということに廃語になりました。これをもしも拡充しないとなれば保険外併用療養ということには、かなり改めなければいけません。そこに歯科医師会がどのような政策を出して行くのか、これもまた国民の健康の為であると同時に歯科診療所が質の高い安定的な歯科医療を提供出来るようにする為の歯科診療系の充実、この2つの視点で誤りのない政策を打ち出していくことを国会議員の先生方のご協力を得ながらやって行きたいと思っております。又、新たな気持できちんと政策を出し行政としっかり向き合い或いは歯科にご理解いただいている国会議員の先生方と協力をしながら連盟と協力しながら誤りのない政策、歯科医療の充実と共にしっかりと道を歩んで参りたいと思っておりますので今後とも宜しくお願ひ申し上げます」と

挨拶が述べられた。次に石井みどり参議院議員より「多くの法案を成立させることが出来たが、この度の主なものとしては、医療法、介護保険法の一部改正などを含む歯科衛生士法、歯科技術士法も関与した。地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法案」を成立させることが出来た。

歯科衛生士法改正に関して、男性衛生士にも対応するよう、女子の文言が者と改まり、2条1項の指導の直接の文言が取られて歯科医療の現場で悪い影響があるのではとの懸念があつたが、これも従前通り歯科医師の診断の後に歯科保健指導を行うということ、歯科医師の関与なくして指導は出来ないとし、今までの歯科医師、歯科衛生士の関係に変わりはないものとなつた。このことを歯科衛生士会、病院団体、介護団体に通知をして徹底していききたい。歯科技工士法の改正により、全国統一試験を実現した。

今後は実技試験の実施について議論して行きたい。労働安全衛生法に関しては付帯決議の中に「職域における歯科保健対策について具体的に検討

を行う」と文言を入れることができた。選挙公約の個別指導の改善に取り組むということに留意しても、法律改正を意図し、まずは通知連絡のところが改善に取り組んで行きたい」と国会報告があつた。

報告事項
会務報告
理事長 峰 正博

報告事項
第1号議案 平成25年度一般会計収支決算
第2号議案 平成25年度政治活動運営会計収支決算
第3号議案 平成25年度運営基金積立金会計収支決算
第4号議案 平成25年度役員退職金積立金会計収支決算
第5号議案 次期参議院比例代表選挙の組織代表候補者擁立について

協議事項
時局対策について
その他
最後に右田信行副会長による閉会の辞で終了した。

会計報告
副理事長 村田憲信
監査報告
常任監事 佐藤博嗣

報告事項
第6号議案 平成26年度一般会計収支補正予算

報告事項
第7号議案

報告事項

報告事項

を進行」と文言を入れることができた。

を進行」と文言を入れることができた。

を進行」と文言を入れることができた。

を進行」と文言を入れることができた。

を進行」と文言を入れることができた。

を進行」と文言を入れることができた。

を進行」と文言を入れることができた。



日歯連盟評議員会 (6/27)

平成26年度

第1回理事会

8月2日(木)、午後3時よりANAクラウンプラザホテル広島3階「カトリア」に於いて標記の理事会が開催された。神原和暢副会長の辞で始まり、荒川信介会長より「新執行部になって1年が経ちました。この1年間は、理事長・副理事長と今後の連盟活動をどうするべきかを検討し、本日の協議事項にあげております。本日協議して頂き変えるべき所は、来年3月の理事会、評議員会で決定したいと思っ

います。また、次期参議院選挙において組織代表の候補者擁立が日歯連盟の評議員会において決定され、それに伴い選考委員会が立ち上がりました。中国・四国の当番県より1名ずつ選出してはどうかということになりました。各県の会長と相談しながら候補者を決定していかねばならないと思っております。中央の事を出来るだけ若い先生方に分って頂けるように

するのために、現在の日歯連盟評議員は津島、赤木の両名の先生にお願いしておりますが、選考委員は日歯連盟評議員でなければならぬ事から、私が赤木真一・日歯連盟評議員と入れ替わり日歯連盟評議員になり選考委員会に出席させていただきます。この事は中国地区において了承を頂いております。また、中国地区の役員の先生方にお諮りして中国地区の意向を決定していきたいと思っております。機会



第1回理事会(8/2)

があれば、先生方にも情報提供していきます」と挨拶があった。

連盟規約により荒川信介会長が議長となり報告

- (1) 事項に入り
- (2) 一般事務報告及び会計状況報告
- (3) 中央情勢報告
- (4) その他

について津島隆司理事長から報告があった。

次に協議事項に入り

(1) 連盟支部交付金及びデンタルミーティングの開催について

- (2) 連盟役員任期について
- (3) 日歯連盟評議員及び予備評議員の変更について
- (4) 平成26年度第1回デ

ンタルミーティングについて

(5) その他

最後に前谷照男副会長の閉会の辞で終了した。

連盟支部だより

安佐支部

「ゆめづくり」夢創造「フォーラム」開催



ゆめづくり「夢創造」フォーラム(7/11)

7月11日(金)午後六時より広島市中区のANAクラウンプラザホテル広島「オーキッド」に於いて標記の会が開催された。

これは河井克行衆議の後援会主催のパーティーで、中央政界より鳩山邦夫衆議院議員と吉川貴盛衆議院議員と政治評論家の田崎史郎氏が来賓し時局講演を行った。「安倍政権の外交・安全保障政策」日米、日中、日韓、日口はどうなる」と題してタイムリーな話に会場は大いに盛り上がった。

本会より西村好一支部長以下、三役が出席した。

その後、荒川信介県連盟会長による挨拶、続いて三反田孝県連盟副理事長による挨拶があった。その後、三善陸朗安芸歯科医師会副会長による乾杯があり、協議事項やその他の話で盛り上がった。最後に、次期開催のり開会の辞で始まった。中川俊直氏による国政報告に続いて出席者の紹介

連盟会務報告

(平成26年3月15日～平成26年8月1日)

- 3・15 第2回連盟理事会
- 第62回連盟評議員会
- 石井みどり・林正夫・ゆざき英彦後援会総会
- 第121回日歯連盟評議員会
- 石井みどりを励ます会
- 日歯連盟総合戦略会議・総合戦略部合同会議
- ひろしま次世代政経懇談会朝食勉強会
- 第53回自民党広島県連大会
- 岸田文雄新政治経済塾
- 中川俊直君を励ます会
- 衆議院議員小島敏文を励ます会・政経セミナー
- ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会
- 県連盟安芸支部・東広島支部と衆議院議員中川俊直氏との意見交換会
- 府中市長選挙告示日
- 広島未来創造塾
- 府中市市長選挙投票日
- 連盟ニュース159号発行
- 3・16 溝手顕正参議院議員と面談
- 5・23 ひろしま次世代政経懇談会朝食勉強会
- 5・31 自民党とともに備後の明日を考える会
- 6・5 連盟監査
- 6・6 都道府県連盟会長会議
- 6・8 大竹市長選挙告示日
- 6・10 ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会
- 6・14 寺田稔君を励ます会
- 6・15 大竹市長選挙投票日
- 6・19 石井みどり参議院議員と面談
- 6・21 広島未来創造塾
- 6・27 第122回日歯連盟評議員会
- 7・4 連盟事業打合せ
- 7・11 ゆめづくり「夢創造」フォーラム Part 23
- 7・25 ひろしま次世代政経懇談会朝食勉強会
- 林正夫君の全国都道府県議会議長会会長就任を祝う会

中川俊直氏と広島県歯科医師連盟安芸支部・広島県歯科医師連盟東広島支部との意見交換会

安芸支部

標記の会を4月12日(土)に「シエラトンホテル広島」に於いて開催

務の司会により、岡田信彦県連盟安芸支部長より開会の辞で始まった。中川俊直氏による国政報告に続いて出席者の紹介

午後7時より沢村豊専

広島土砂災害で被害にあわれた方々のご冥福を、心よりお祈り致します。また、避難所生活を強いられる方々のためにも、出来るだけ早い復旧を期待致します。自然の猛威を前にすると人間は無力であるということ、今回の土砂災害で目の当たりにしました。

8月20日未明に広島市安佐南区、安佐北区で豪雨災害が発生し、多くの尊い人命が失われてしまいました。ご冥福をお祈りしたいと思います。被災した方々も多く、避難所生活を強いられています。一日も早く平常の生活を取り戻し、安心して暮らしてもらいたいと思っております。私も何らかの形でお手伝いしたいと思います。

(泰)

高齢化に伴う社会保障の増大、国債残高が膨らんだ事による利払いの増加、一方成長戦略や地方創生を旗印に、公共事業などが大幅増となっている。また近年の異常気象による甚大な水害等により歳出増は必至であると同時に、防災や非難計画が十分対応できるのかこれを機に各自自治体や地域でも再点検が急務ではないか。

(丁)

安佐南区八木地区を中心に発生した土砂災害から1週間が経った。警察、消防、自衛隊は他県の応援部隊を含めて3400人態勢で、大量の流木やがれきが、一帯を覆う中、倒壊した民家の捜索に当たっている。しかし無情にも未だにわか雨は降り続けている。不明者捜索は長期化しそうです。亡くなった方々のご冥福をお祈り致します。

(志)

編集後記